

V. L., Fl. Manshuriae, 3: 413-417, (1907); Ledebour C. F., Fl. Altaica, 2: 439-443. (1830-a); Icon. Plant. Imperf. Cognit. Fl. Rossicam Impr. Altaicam, 2: 18, tab. 156. (1830-b); Fl. Rossica, 3: 214-222. (1847); Linnaeus C., Sp. Plant., 2: 619-621. (1753); Makino, T., in Tokyo Bot. Mag. 12: (226), (1898); 20: 4. (1906); in Iinuma, Sōmoku-Dzusetsu, 3: 856-857, tab. LIV-LV (1912); Illust. Fl. Nippon: 151, tab. 451-453. (1940); Matsuda S., in Tokyo Bot. Mag., 28: 38. (1914); Maximowicz C. J., Fl. Asiae Orient. Fragmenta, 34-38, (1879); in Bull. Acad. Imper. Aci. St-Petersbourg, 26: 501 (1880); Miquel F. A., Ann. Mus. Bot. Lugduno-Batavi 2: 115-116 (1865); Prol. Fl. Iaponicae: 47-48, (1866); Miyabe K. et Miyake T., Fl. Saghalin: 342-343 (1915); Nakai T., in Tokyo Bot. Mag., 23: 189 (1909); Flora Koreana, 2: 118 (1911); Rep. Veget. Diamand Mount. Corea: 184, tab. 5-i (1918); Rep. Veget. Isl. Dagelet Corea: 25 (1919); Fl. Sylvat. Koreana, 14, 69 (1923); Journ. Japanese Bot., 14, 631-637 (1938 Otc.); Oliver D., in Journ. Linn. Soc., 9: 167 (1867); Reichenbach L., Fl. Germanica: 376-378 (1831); Icon. Fl. Germ. Helvet., 20: 24-27 tab. MDCLXXI-MDCLXXVI (1862); Sasaki S., List. Pl. Formosa: 369 (1928); Schmidt Fr., in Mem. Acad. Imper. Sci. St-Petersbourg, 12; 162 (1868); Sprengel C., Syst. Veget. 2: 619-621 (1825); Stiefelhagen H., in Engl. Bot. Jahrb. 44: 406-496 (1910); in Abhandl. Bot. Prov. Brandenburg, 53: 26-28 (1911); Turczaninov N., Fl. Baical. Daur. 2: 303-305 (1850); Ueki H. et Sakata T., in Act. Phyt-Geobot., 7: 16 (1938 Feb.); Wettstein R., in Engl. Pflanzenfam., 4-3-b: 65 (1897).

○植物採集観書 (其八) (奥山春季) ——S. OKUYAMA, Tentative list of plants for collectors (8)

茨城縣

○潮來

植物 [單] センニンモ, ササバモ, ミヅヒキモ, ヤナギモ, エビモ, ヒロハノエビモ, イバラモ, アギナシ, ジヤウラウスグ, オニスゲ, シホクグ, オホハリヰ, クロダワイ, ヒメホタルヰ, マツカサススキ, トラノハナヒグ, ヒロハノカウガイゼキシヤウ, タヂカウガイゼキシヤウ, サギサウ, ミヅトンボ. [離] ホソバノウナギツカミ, カハホホ, ジュンサイ, ムジナモ, エゾミソハギ, [合] サハトラノヲ, ヒメナミキ

文献 鈴木靖: 常陸國潮來附近產植物 植雜 15: 250-255, 271-275 (1901)

○鹿島神宮

植物 [羊] ヘラシダ, イハヒメワラビ, ホソバカナワラビ, ウラジロ, オホハナワラビ, ミヅニラ. [單] クサドウ, スチシバ, ワセヲバナ, ケカモノハジ, ハマアオスグ,

コウボフムギ, コウボフシバ, ピロウドテソツキ, ノグサ, ヤブメウガ, ヒラヰ, フウラン, シラン, ヒメフタバラン, ヤウラクラン, ベニカヤラン, クモラン. [離] ララジロガシ, スダジヒ, アカガシ, トキホコリ, ラセイタサウ, フデナデシコ, イヌグス, シロダモ, コマウセンゴケ, トベラ, ハマエンドウ, ハマビシ, フモトスマレ, ミヅユキノシタ, ツボクサ, ハマバウフウ. [合] イツセシリヤウ, カラタチバナ, マンリヤウ, ハマヒルガホ, スナビキサウ, ウンラン, ハマウツボ, アリドホシ, マツムシサウ, ヒナギキヤウ, サハギキヤウ, ハマグルーマ, シウブンサウ, ハマニガナ, ヌマダイコン.

文献 水戸博物学会: 鹿島神宮境内及び其附近植物目録 茨城博 9; 1—39(1938)

### ○筑波山

原産植物 *Cynanchum nipponicum* Matsum. ツクバノカモメヅル植雑 12; 39(1898). *Carex hirtifructus* Kükenth. [ツクバスゲ] Bull. Herb. Boiss. 2 ser. 5; 1163(1905). *Ajuga yesoensis* var. *tsukubana* Nakai [ツクバキンモンサウ] 植雑 25; 151 (1911). *Elaeagnus tsukubana* Makino ツクバグミ植研 3; 25(1926). *Polygonatum silvicolum* Makino ヤマナルコユリ l.c. 26(1926). *Vitis flexuosa* var. *tsukubana* Makino ウスゲサンカクヅル l.c. 26(1926) *Chrysanthemum marginatum* var. *flavo-radiatum* Makino サトイソギク l.c. 4; 4(1927) 栽植. *Saxifraga sarmentosa* var. *aptera* Makino ホンザキユキノシタ l.c. 3; 43 (1927). *Aster ageratoides* var. *adustus* f. *leucanthus* Honda シロバナノコンギク 植雑 44; 670(1930) *Pleioblastus tsukubensis* Nakaki ツクバザサ植研 10; 215 (1934). *Sasa tsukubensis* Nakai ツクバザサ(同名あり) l.c. 11; 86 (1935). *Sasamorpha purpurascens* var. *macrochaeta* Nakai ツクバスズ l.c. 75 (1935). *Saussurea tsukubensis* Nakai ツクバヒヨタイ植雑 49; 422 (1935). *Liparis Kumokiri* F. Maekawa クモキリサウ植研 12; 95(1936). *Lonicera tenuipes* var. *tsukubana* Satake ツクバウグヒスカグラ植研 14; 264(1938). *Arundinaria Tsurumatiana* Koidz. ツクバシノ植分 8; 114 (1939), *Sasa tsukubanantaicola* Koidz. ホソバツクバスズ l.c. 193 (1939), *Arundinaria tsukubensis* Koidz. ヒタチシノ l.c. 9; 77(1940), *Gentiana Zollingeri* f. *albiflora* Tuyama シロバナフデリンダウ 植研 16; 502 (1940). *Ixyoungia Yendoi* Kitamura オニヒメデシバリ植分 11; 131 (1942). *Cinnamomum Camphora* var. *rotundifolia* Makino マルバグス Makinoa 8; 150 (1948) 筑波神社

植物 [羊] カウヤコケシノブ, コガネシノブ, イハトラノラ, コバノヒノキシダ, オホイタチシダ, オホミヤマイヌワラビ, ナンタイシダ, スギラン, [單] ハヒヂゴザサ, アヅマザサ, ミヤマズズ, アヅマスゲ, ヒナスゲ, ヤマナルコユリ, ヒトツボクロ, ムカゴサウ, ミヅトンボ, フタバラン [離] アカガシ, ツクバネガシ, ララジロガシ, イタビカヅラ, ツクバネ, ヤマトグサ, ワチガヒサウ, トウゴクサバノヲ, ゴエフアケビ, シキミ, タブノキ, シロダモ, マルバコソロンサウ, イヌザクラ, ミヤマザクラ, オホヤマザクラ, リンボク, ミヤマフユイチゴ, ジヤケツイバラ, フデキ, ウチダシミヤマ

シキミ, フユザンセウ, モチノキ, ヒツツバカヘデ, ヒサカギ, サカギ, コセウノキ, タカノツメ, ツボクサ・[合] マルバイチヤクサウ, トウゴクミツバツツジ, キヨスミイボタ, ヤブシロ(本草図譜), ジヤカウサウ, イハタバコ, ニシキウツギ, フジテンニンサウ, キヌタサウ, ツルアリドホシ, ハクサンヲミナヘシ, オホモミヂガサ, サハシロギク, シウブンサウ.

文献 三好学: 筑波山植物採集畧記 植雜 5; 153-156(1891) 同採集植物目録 1.c. 156-158 (1891) 松村任三: 「植物採集便覧」141-158 [筑波山の部](1900) 栗野宗太郎: 筑波山採集記 理学界 14; 310-312(1916) 本田正次: 筑波山の植物二三に就いて 理科教育 10-12; 76-78(1927) 笹岡久彦: 筑波行 理学界 37; 44-46(1929) 島山久重: 五月の筑波山 理学界 31; 429-432(1933) 鶴町猷: 筑波山の樹木 茨城博 1; 10-15, 2; 23-27(1934).

#### ○袋田瀧・久慈 男體山

原產植物 *Tripogon longearistatus* var. *japonicus* Honda フクロダガヤ 植雜 41; 12(1927) 植物 [羊] イハオモダカ, ホテイシグ, シノヅ, イハデシグ, フクロシグ, ヤシヤゼンマイ・[單] ホガヘリガヤ, ホソバノアマナ, ステコビル, ヤマナルコユリ, ヤマデノホトトギス, ヒアフギ, サイハイラン, ウテフラン, ヒナラン, ヤマトキサウ, ムギラン・[離] ミヤマイラクサ, イチリンサウ, カラスザンセウ, フモトスミレ, ヤマグルマ, スハマサウ, チヤウジザクラ, ジヤケツイバラ, ハヒメドハギ, マツバニンジン・[合] アブラツツジ, トウゴクミツバツツジ, マンリヤウ, カメバヒキオコシ, キヨスミウツボ, イハタバコ, キヌタサウ, オヤリハグマ, マハズハハコ。

文献 斎藤卯内: [久慈 男体山の植物] 茨城博 12; 26-31(1939).

#### 群馬縣

#### ○尾瀬地方 (福島縣領をも含む)

原產植物 *Andromeda polifolia* var. *leucantha* Takeda シロバナノヒメシヤクナゲ 植雜 24; 109 (1910) 燐岳 *Berberis amurensis* var. *brevifolia* Nakai マルバメギ 植雜 43; 441 (1929) 至佛山 *Cirsium homolepis* Nakai ヲゼヌマアザミ 植雜 44; 534 (1930) *Japonolirion oseana* Nakai ヲゼサウ 1. c. 22 (1930) 至佛山 *Sasa oseana* Makino ヲセザサ 植研 7: 32 (1931) (nom. nud.) *Sasa paniculata* var. *oseana* Makino ヲセザサ 1. c. 8; 43 (1933) *Erigeron heterotrichus* Hara ジヤウシウアツマギク 植研 11; 827 (1935) 至佛山 *Calamagrostis grandiseta* var. *brevi-aristata* Honda シブツノガリヤス 植雜 49; 699 (1935) *Veratrum longebrotracteatum* var. *atropurpureum* Honda ムラサキタカネアツヤギサウ 1. c. 700 (1935) 至佛山 *Festuca rubra* var. *hondoensis* Ohwi ヤマオホウシノケグサ 植分 5; 51 (1936) 至佛山 *Cirsium Okamotoi* Kitamura Comp.Jap. 1; 133 (1937) 菖蒲平 *Inula ciliaris* var. *glandulosa* Kitamura 1. c. 266 (1937) *Leontopodium Faurei* var. *angustifolium* Hara et Kita-

mura ホソバヒナウスユキサウ 武田久吉:「高山植物図彙」ed. 2, 8 (1937) *Rhamnus senanensis* var. *parvifolia* Honda ヲゼノクロウメモドキ 植雑 51; 94 (1937) *Struthiopteris castanea* var. *viridipes* Honda アヲデクミヤマシガシラ 1. c. 644 (1937) *Nuphar ozensis* Miki ヲゼカハホネ 山城水草誌 86, f. 50 K-T (1937) *Eriocaulon atrooides* f. *nanum* Satake ヲゼイヌノヒゲ 大日植誌 Erioc. 73 (1940) *Phragmites communis* f. *pilifera* Ohwi ケヨシ 植分 10; 266 (1941) *Saxifraga Fortunei* f. *rubrifolia* Honda ウラベニダイモンジサウ 植雑 56; 17 (1942) 至佛山 *Ranunculus grandis* var. *ozensis* Hara ヲゼキンバウゲ 植研 19; 360 (1943) *Epimedium coelestre* Nakai クモキイカリサウ 植研 20; 73 (1944) 至佛山 *Allium Schoenoprasum* var. *shibutsuense* Kitamura シブツアサツキ 植雑 59; 35 (1946) *Euphorbia togakusensis* var. *ozensis* Hurusawa ヲゼヌマタイゲキ 植雑 60; 72 (1947)

**植物** [羊] ヤマハナワラビ, ミヤマシダ, オホメシダ, ミヤマヘビノネゴザ, オホミヤマイヌワラビ, オンヤグジデンダ, ミヤマシガシラ, ミヅドクサ, ヌマドクサ, ヒメスギラン, ヤヂスギラン, コゲスギラン, ヒメミヅニラ. [裸] オホンラビソ, エゾマツ (武田博士), ミヤマネズ, ハヒマツ. [單] ヒロハノエビモ, ホロムイサウ (南限), ホソバノシバナ, カニツリノガリヤス, ミヤマノガリヤス, テシマガリヤス, カラフトドゼウツナギ, ヌマガヤ, イハスゲ, ハクサンスゲ, オホカサスゲ, ヲゼヌマスゲ, ヒメカハズスゲ, タテヤマスゲ, ホロムイスゲ, クモマシバスゲ, ヌイオスゲ, クマノハナヒゲ, ミヤマホタルギ, オホフトギ, タカネクロスゲ, クロアブラガヤ, ミヤマホソカウガイゼキシヤウ, エゾホソギ, ミヤマゼキシヤウ, タカネスズメノヒエ, ミヅバセウ, ニツクワウキスゲ, キヌガササウ, オホバユキザサ, ウラゲコバイケイ, ヒアフギアヤメ, サハラン, コアニチドリ (南限), コイチエフラン, アケボノシユスラン, ヒロハツリシユスラン, テガタチドリ, ミヤマフタバラ, コフタバラ, ハクサンチドリ, ミヅチドリ, コバノトンボサウ, キソチドリ, ホソバノキソチドリ, トキサウ [離] ミヤマヤナギ, トガチヤナギ, キンメヤナギ, ヤチヤナギ, ヤハズハンノキ, タニガハハシノキ, ミヤマハンノキ, コブニレ, タカネスイバ, カトウハコベ (至佛山), タカネナデシコ, コバノツメクサ, ハクサンイチゲ, リウキンクワ, コシデミツバワウレン (至佛山), シラネアフヒ, イトキンバウゲ, トガクシシヨウマ, コマクサ (燧岳), ウメハタザホ, (至佛山), ハクゼンナヅナ, ナガバノマウセンゴケ (南限), サジバマウセンゴケ, アラシグサ (燧岳), ヤシヤビシヤク, コマガタケスグリ, フキユキノシタ, クロバナラウゲ, ミヤマキンバイ, タカネザクラ, チシマザクラ (館脇博士), タカネイバラ, オホタカネイバラ, ゴエフイチゴ, ヒメゴエフイチゴ, チングルマ, ムラサキツリバナ, クロビイタヤ, ミヤマツボスミレ, オホバタチツボスミレ (南限), カラスシキミ, ミヅスギナ, スギナモ, ハクサンサイコ, ミヤマウ牛キヤウ, ミヤマヤブニンジン, ハクサンバウフウ, オホカサモチ, [合] ヒメシヤクナゲ, コメバツガザクラ, ハリガネカヅラ,

シラタマノキ, ミネズワウ, ベニサラサドウダン, ヒメツルコケモモ, ツガザクラ, シヤクナゲ, ウスキシヤクナゲ, コメツツジ, コツマトリサウ, ヤナギトラノヲ, オホサクラサウ, イハイチヤウ, タウヤクリンダウ, エゾリンダウ, ホロムイリジダウ (武田博士), ミツガシハ, エゾムラサキ (野化), ホソバコゴメグサ, ヨツバシホガマ, オニシホガマ, ユキワリシホガマ, オニク, コタヌキモ, オホアカネ, ミヤマシグレ, ヒメシヤジン, チヤウジギク, ウサギギク, サハオホノアザミ, ミヤマカウヅリナ, ミヅギク, ヲタカラカウ, マルバダケブキ, シラネアザミ

文献 早田文藏: 南会津竜其ノ附近ノ植物 植雑 17; 8—9 (1903) 同 A list of Plants collected in Aizu. 『会津植物目録』 1. c. 27—36 (1903) 武田久吉: 尾瀬紀行 山岳 1—1; 119—138 (1906) 同: 尾瀬再探記 1. c. 19; 1—25 (1925) 館脇操: 尾瀬をめぐりて 山岳 19; 25—80 (1925) 飯柴永吉: 尾瀬方面植物目録 フロラ No. 17; 1—6 (1929) 星大吉: 福島縣南会津郡植物目録 斎藤報恩会博物館時報特輯号 4; 1—24 (1933) 文部省: 「尾瀬天然紀念物調査報告」 (1933) 奥山春季: 尾瀬地方產すけ属植物 植研 11; 662—663 (1935) 同: 尾瀬至佛山探集植物目録 自然科博 7—7; 12—16 (1935) 館脇操: 尾瀬地方の植物「尾瀬と日光」 117—123 (1941) 三宅徹: 尾瀬ヶ原探集記 日大中学校友会誌 26; 31—44 (1941)

## ○キバナバラモンジンを語る (久内清孝) — K. HISAUCHI, Japanese name of *Scorzonera hispanica*.

終戦後各処に出入自在な地域が出来、出入が合法的かどうかは別として、兎に角色々なところが見通しがきく様になつた。そのため、キバナバラモンジンがちよいちよい眼にふれる。しかしこの草が戦後に來たものとも思われず、前からぼつぼつあつたもので、東大構内などでも、かなり古くから知られていた。田中徳氏の「天皇と生物研究」などにも皇居内吹上に沢山生えていることが記されている。ところで、この学名がなんであるかということになると、一寸面喰わざるを得ない。東大にある、故松村博士の手記があり、当時植物園で栽培されていたものを圧して作つた標本 (1878) によれば、まぎれもなく、名実共に正しい *Scorzonera hispanica* L. であつて、和名はキバナノバラモンジンとなつて居る。そして植物名彙第1版 (1886) では、ギバナバラモンジンとなり、ノの字が畳され、福羽逸人氏の蔬菜栽培法 (1893) にはキクゴボウとあり、植物鑑覧第1版 (1925) ではイスパンバラモンジンなる新称が與えられ、キバナバラモンジンの名は *Tragopogon pratensis* L. に移され、植物園重子目録 (1940) なども、同様になつてゐる。そこで、現在帰化しているものはなんであるかといふと、明かに *T. pratensis* L. であり、現在では、これがキバナバラモンジンと呼ばれている。しかし私が廻行し得る最古のもので、この名で呼ばれたものが、上記の通り、東大標本だとすれば、キバナノバラモンジンは *S. hispanica* でありこれを図説したものは、たゞえ、その図が、外國書